

問 新白岡駅周辺の開発は

新白岡駅は開業以来30年を迎え、1日約7千人の利用実績のある駅となった。近隣住民から駅に関する要望がいくつか上がっているが、その中で、駅前中央広場の再整備事業の進捗状況はどうか。

また、東西口の駅前道路の延伸についてどのような状況か伺う。

答 駅周辺の利便性向上に努める

駅前広場の利用状況など調査し設計を実施した。今後は警察などとの協議を実施し、駅利用者の利便性向上に向け再整備を進めていく。駅前道路の延伸は、残る都市計画道路の事業化を検討し、それらの状況などを勘案しながら具体化への検討を進めていく。



大島 勉 議員
(創政会)



新白岡駅

問 地域福祉と地域コミュニティの今後

当市の地域福祉計画は、福祉課題の解決に取り組み、「誰もが安心して暮らせるまち」の実現を目指すところがあるが、策定から1年経って現状どのように進んでいるか。また、今後の具体的な取組について伺う。

答 社協との連携を図り推進していく

本計画の特集を広報に掲載し、市民へ周知したほか、民生委員・児童委員へ配布、説明した。今後、地域福祉の重要な担い手である民生委員・児童委員の活動を市民へ周知するとともに、さまざまな地域活動を展開している社会福祉協議会との連携を図り推進していく。

問 「市政のみえる化」の推進を

行政評価制度を導入し、まちづくりを客観的に評価するとともに、その結果を公開してはどうか。ホームページの運営が各課で縦割りになっており利用者目線の発信になっていない。全体をマネジメントする視点が必要では。またスマホ対応など更なる利便性向上は、

答 わかりやすい市政情報の発信に努める

行政評価制度を導入し、外部評価を実施するとともに、その結果を広報しらおかなどにおいて積極的に公表していく。また、所管をこえた関連情報へのリンクやスマートフォン対応ページの導入に向けた検討など、公式ホームページの利便性の向上に努める。



渡辺聡一郎 議員
(創政会)



柴山沼

問 圏央道を活かした地域活性化を

圏央道の成田方面の開通を契機に企業誘致の期待が高まる。企業誘致と地域活性化を結び付ける視点が重要だ。雇用を生みやすい製造業や地元産業と連携しやすい食品加工企業などにターゲットを定めた戦略が必要では。またグリーンツーリズムなどの観光政策は、

答 人と企業を呼び込む活動を展開していく

市では、この機会をとらえて、今まで以上に人と企業を呼び込む活動を展開していく。市をあげて企業を誘致することで、税収増加、若者や女性、高齢者などの雇用創出につなげたい。また、既存企業と進出企業の連携を取り持ち、本市の産業力向上を図っていく。